

ソーシャルワーカーによるクライアントの自殺の経験や  
その後求められる対応・支援に関する研究

# アンケートご協力をお願い

東京社会福祉士会会員の皆さまを対象に、2009年に実施されたアンケート調査への回答者のうち、  
約4割の方がクライアントの自殺死亡を経験していました。

クライアントの自殺は、対人援助職に強いストレスを与えるといわれています。

そのため、クライアントの自殺死亡により社会福祉士が受ける影響、その影響に強く関連する要因、  
また自殺が起きた後に求められる対応や支援などを早急に明らかにし、現場に情報提供していく必要があります。

そこでこの度、東京社会福祉士会会員の皆さまに、ウェブアンケートを通じて、  
上記についてのご経験やお考えをお聞かせいただきたく、お願いさせていただく次第です。

## アンケートにご協力いただける方

社会福祉士の国家資格をお持ちの方であれば、どなたでもご参加いただけます。  
クライアントの自殺経験の有無やソーシャルワーカーとしての経験年数は問いません。  
ただし、クライアントの自殺を経験されている方は、つらいご経験を思い出していただくことになりますので、  
決して無理をされないよう、よろしくお願いいたします。気分が優れなくなった場合はいつでも中断ができます。

## アンケートの参加方法

アンケートにご協力いただける方は、まず下記URLもしくはQRコードより、研究説明書を必ずご一読ください。  
研究協力にご同意いただける場合は、ウェブアンケート用のURLもしくはQRコードより  
アンケートにご回答くださいますよう、よろしくお願いいたします。  
お問合せは下記、主任研究者にメールでご連絡ください。

### 注意事項

パソコン・スマートフォン・タブレットからご回答いただけます。  
また、途中で中断しても同じブラウザであれば、中断した箇所から再開できます。  
ただし、**共用のパソコンはご利用にならないでください。**

### 研究説明書

アンケートにご協力いただける方は、  
必ずご一読ください。

<https://youvo.net/swicf/>



### ウェブアンケート

アンケートの所要時間は約15分です  
(個人差あり)。

<https://youvo.net/sw/>



**共用のパソコンはご利用にならないでください。**

### 主任研究者

お問合せは、主任研究者にメールでご連絡ください。

小高 真美 (こだか まなみ)

武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科 教授  
東京社会福祉士会 自殺予防ソーシャルワーク委員会 委員長  
日本社会福祉士会 自殺予防領域 アドバイザー



Mail : [m\\_kodaka@musashino-u.ac.jp](mailto:m_kodaka@musashino-u.ac.jp)